

村・教育行政報告

第三回定例会

平成二十七年第三回議会定例会が九月九日から一八日の日程で開催され、議会初日、村長・教育長が村・教育行政報告を行いました。

行政報告

村長 東 出 輝 一

▽要望要請活動

《道内要望活動》

●七月二十一日、「石狩管内地域主権・民主党政策懇談会」に出席し、「TTPの参加反対」を始めとする六項目について、要望をいたしました。

●七月十七日、石狩地方開発促進期成会の副会長として、石狩管内における懸案事項について、管内市町長とともに要望をいたしました。

《中央要望活動》

●七月一日・二日の両日、村を始め、議会、農業委員会、農協、商工会、三土地改良区の八団体の代表者と共に、TTP交渉に関する国会決議遵守について、農林水産省、内閣府、道内選出国會議員に対し要請を行いました。

●七月二日・三日の両日、石狩川治水促進期成会の副会長として、平成二十八年度治水関係予算の必要額の確保に向け要請を行いました。

●七月三十日、石狩地方開発促進期成会の副会長として、管内市町長とともに石狩管内の懸案事項を道央圏連絡道路整備促進期成会との合同により、要

請を行いました。

▽企画振興関係(開村百二十年記念事業)

●六月二十七日、NHKラジオ「真打ち競演」の公開録音が自治センターで開催されました。

●八月八日、「開村百二十年記念村民パークゴルフ大会」が、ふれあい公園パークゴルフ場で開催されました。

●八月二十八日、しのつ湖岸で、村観光協会主催の「開村百二十年記念花火大会」が開催されました。この日は、天候が心配されましたが、しのつ公園は、大変多くの人で賑わい、約一時間にわたり、四千発の花火が打ち上げられました。

●八月三十日、「開村百二十年記念杉良太郎講演会・ミニ歌謡ショー」が中学校で開催されました。

●九月一日の「村の日」にあたり開催しました開村百二十年記念式典・祝賀会は、来賓として北海道から荒川副知事を始め、村内外から二百七十四名のご臨席を賜り盛大に挙行されました。

式典では、村の振興発展に永年、献身的な活動を続けられ、その功労が特

に顕著な方五名に村政功労者顕彰を、各方面で功績が顕著な方、また、格別なるご厚志をもって貢献された九名、三法人に貢献賞、善行賞及び感謝状の贈呈をさせていただきました。

▽商工観光関係

●「しんしのつ産直市場」の開店周年を記念して、八月一日に記念イベントを開催いたしました。

●八月二十九日、「第三十六回新しのつ青空まつり」が自治センター前広場で開催されました。当日は、大勢の方々で賑わいました。自治センター南側では、JAによる「あぐりふえすた」が同会場で開催された他、「おこめちゃん・とべのすけ・おんちゃんショー」や「歌謡ショー」など、新たなイベントを催した効果もあり、多数の来場者が訪れました。

▽交通安全運動

●今月の二十九日で達成される交通安全事故ゼロ三〇〇〇日を無事に達成することを願い、夏の交通安全運動が七月十一日から七月二十日までの十日間実施し、通学路において、街頭指導を行いました。

▽福祉関係

●例年七月は「社会を明るくする運動」の強調月間となっていることから、七月八日に江別地区保護司会の会長他事務局の方が来庁され、本村の保護司三名とともに、内閣総理大臣からのメッセージの伝達を受けました。

●七月十五日には、自治センターにおいて、石狩振興局を始め、多くのご来賓が参加のもと、平和祈念戦没者慰霊祭を挙行いたしました。本年度戦後七十年目の節目の年を迎え、また新たに、戦争で亡くなられた英霊に対し、平和に対する誓いを決意しました。

●敬老祝品等の贈呈については、老人の日に伴う老人週間に合わせ、八十歳になられた方、四十八名には座布団を、また九組の方に健在夫婦祝い金をお届けする予定であります。これからお元気で、ご長寿を願うものであります。

▽保健・医療関係

●六月九日から十二日までの四日間で、六十五歳以上の国保加入者及び後期高齢者医療加入の方を対象に特定健診とガン検診を実施いたしました。特定健診には百八十八名の方が受診され、ガン検診については延べ四百二十七名の方が受診されました。